

小学4年の地理
日本の水産業①【問題】
(1)



名前

点

① □は体長25cmで日本で多くとられている魚です。□や家畜のエサとしても利用されます。

①

② さんまは□(季節)が旬の魚で、細長い体が特徴です。漢字で□と書きます。

②

③ 体が青く輝いて見えることから、あじや□は、□や□と呼ばれます。

③

④ 体長約90cmの□は、□にのって日本にやって来ます。水あげされるとおなかにしまもようが現れます。

④

⑤ □は加工してかまぼこなどの原料になります。□はこの魚のたまごです。

⑤

⑥ □は体長約40cmで、北海道でよく食べられており、関東ではほとんどが干物で売られています。

⑥

⑦ □は体長約100cmで、冬が旬の魚です。西日本を中心に養殖もさかんです。成長するとともに名前が変わる□の1つです。

⑦

⑧ □は体長3mにもなる魚で、泳ぐことで呼吸をしています。

⑧

⑨ □は体長約30cmで、北海道で古くからたくさんとられてきた魚です。卵は□とよばれます。

⑨

⑩ □は体長約1mで、□になると産卵のために生まれた川に帰ってきます。卵は□とよばれます。

⑩

⑪ □(ひらがな)は、背中が青くかがやいている魚なので、漢字で□と書きま

す。

⑫ □(ひらがな)は、うろこが弱くいたみやすい魚なので、漢字で□と書きま

す。

⑬ □(ひらがな)は、3月ごろからおいしくなる魚なので、漢字で□と書きま

す。

⑭ この魚は、関東ではワカシ→□→□、関西ではツバス→□→□と名前が変わり、最後に□と呼ばれます。

⑭

⑮ 韓国、アメリカ、日本を一人当たりの魚介類消費量が多い順に並べなさい。

⑮

⑯ 日本、インドネシア、中国、ロシアを漁獲量が多い順に並べなさい。

⑯

⑰ □は深さ□mまでの浅い海底に広がっており、魚が集まる良い漁場です。

⑰

⑱ 寒流と暖流のぶつかる□は、□が多く集まるため、良い漁場になります。

⑱

⑲ 日本人の魚の消費量は世界の中でもとても□。また漁獲量は□。

⑲

⑳ 昔の日本は□の肉を食べることを禁止していた□の影響で、主に魚介類からたんぱく質をとっていた。

⑳

小学4年の地理
日本の水産業①【解答】

(1)



名前

点

① □は体長25cmで日本で多くとられている魚です。□や家畜のエサとしても利用されます。

② さんまは□(季節)が旬の魚で、細長い体が特徴です。漢字で□と書きます。

③ 体が青く輝いて見えることから、あじや□は、□や□と呼ばれます。

④ 体長約90cmの□は、□にのって日本にやって来ます。水あげされるとおなかにしまもようが現れます。

⑤ □は加工してかまぼこなどの原料になります。□はこの魚のたまごです。

⑥ □は体長約40cmで、北海道でよく食べられており、関東ではほとんどが干物で売られています。

⑦ □は体長約100cmで、冬が旬の魚です。西日本を中心に養殖もさかんです。成長するとともに名前が変わる□の1つです。

⑧ □は体長3mにもなる魚で、泳ぐことで呼吸をしています。

⑨ □は体長約30cmで、北海道で古くからたくさんとられてきた魚です。卵は□とよばれます。

⑩ □は体長約1mで、□になると産卵のために生まれた川に帰ってきます。卵は□とよばれます。

⑪ □(ひらがな)は、背中が青くかがやいている魚なので、漢字で□と書きま

す。

⑫ □(ひらがな)は、うろこが弱くいたみやすい魚なので、漢字で□と書きま

す。

⑬ □(ひらがな)は、3月ごろからおいしくなる魚なので、漢字で□と書きま

す。

⑭ この魚は、関東ではワカシ→□→□、関西ではツバス→□→□と名前が変

わり、最後に□と呼ばれます。

⑮ 韓国、アメリカ、日本を一人当たりの魚介類消費量が多い順に並べなさい。

⑯ 日本、インドネシア、中国、ロシアを漁獲量が多い順に並べなさい。

⑰ □は深さ□mまでの浅い海底に広がっており、魚が集まる良い漁場です。

⑱ 寒流と暖流のぶつかる□は、□が多く集まるため、良い漁場になります。

⑲ 日本人の魚の消費量は□、また漁獲量は□。

⑳ 昔の日本は□の肉を食べることを禁止していた□の影響で、主に魚介類からたんぱく質をとっていた。

① いわし、養殖魚

② 秋、秋刀魚

③ さば、青魚、光りもの

④ かつお、黒潮

⑤ すけとうだら、たらこ

⑥ ほっけ

⑦ ぶり、出世魚

⑧ まぐろ

⑨ にしん、かずのこ

⑩ さけ、秋、いくら

⑪ さば、鰆

⑫ いわし、鰯

⑬ あじ、鰯

⑭ イナダ、ワラサ、ハマチ、メジロ、ブリ

⑮ 韓国、日本、アメリカ

⑯ 中国、インドネシア、ロシア

ア、日本

⑰ 大陸棚、200

⑱ 潮目、プランクトン

⑲ 多い、多い

⑳ 4本足の動物、仏教

小学4年の地理
日本の水産業①【問題】
(2)



名前

点

- ① 日本の周りを流れる暖流を東から順に2つ答えよ。
- ② 日本の周りを流れる寒流を東から順に2つ答えよ。
- ③ 本州の東に広がる海、本州の西に広がる海、北海道の北東に広がる海、九州の南西に広がる海をそれぞれ答えよ。
- ④ うに、たこ、かに、かれいを一般に深い所に生息する順に並べよ。
- ⑤ 日本列島の東側の□（場所）には、□海流と□海流がぶつかる潮目があります。
- ⑥ 潮目に魚が多い理由を2つ答えよ。
- ⑦ 大陸棚に魚が多い理由を2つ答えよ。
- ⑧ 北海道からさらに北にある□や□（国の名前）に近い漁場で□、□、□、□などの寒流魚をとる漁業を□といいます。
- ⑨ □年代の後半に世界の国々が□をもうけるようになったために、魚をとるためにには□というお金をはらわねばならなくなり、□港を中心とした北洋漁業はおとろえてしまった。
- ⑩ 潮目では寒流の力が強まる□（季節）では□（方角）に少し位置が変化し、暖流の力が強まる□（季節）では□（方角）に少し位置が変化する。
- ⑪ □県にある□港は日本海がおよび西日本で有数の水あげ量をほこる漁港でありや□などが水あげされる。
- ⑫ 青森県の□港は潮目に近いため水あげ量が多く、□などが水あげされる。
- ⑬ 福島県の□港は潮目に近いため水あげ量が多く、□などが水あげされる。この港は□によって大きな被害を受けた。
- ⑭ 関東地方最大の漁港である□県の□港は、□川の河口にあり、いわしの水あげが多いことで有名です。
- ⑮ 静岡県の□港は□漁業の基地になっており、かつおや□が多く水あげされる。
- ⑯ 東北地方の□海岸の南部のように、複雑に入り組んだ地形の□海岸は、波がおだやかなため、漁港を作るのにむいている。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

小学4年の地理
日本の水産業①【解答】
(2)



名前

点

- ① 日本の周りを流れる暖流を東から順に2つ答えよ。
- ② 日本の周りを流れる寒流を東から順に2つ答えよ。
- ③ 本州の東に広がる海、本州の西に広がる海、北海道の北東に広がる海、九州の南西に広がる海をそれぞれ答えよ。
- ④ うに、たこ、かに、かれいを一般に深い所に生息する順に並べよ。
- ⑤ 日本列島の東側の□（場所）には、□海流と□海流がぶつかる潮目があります。
- ⑥ 潮目に魚が多い理由を2つ答えよ。
- ⑦ 大陸棚に魚が多い理由を2つ答えよ。
- ⑧ 北海道からさらに北にある□や□（国の名前）に近い漁場で□、□、□、□などの寒流魚をとる漁業を□といいます。
- ⑨ □年代の後半に世界の国々が□をもうけるようになったために、魚をとるために□というお金をはらわねばならなくなり、□港を中心とした北洋漁業はおとろえてしまった。
- ⑩ 潮目では寒流の力が強まる□（季節）では□（方角）に少し位置が変化し、暖流の力が強まる□（季節）では□（方角）に少し位置が変化する。
- ⑪ □県にある□港は日本海がおよび西日本で有数の水あげ量をほこる漁港であじや□などが水あげされる。
- ⑫ 青森県の□港は潮目に近いため水あげ量が多く、□などが水あげされる。
- ⑬ 福島県の□港は潮目に近いため水あげ量が多く、□などが水あげされる。この港は□によって大きな被害を受けた。
- ⑭ 関東地方最大の漁港である□県の□港は、□川の河口にあり、いわしの水あげが多いことで有名です。
- ⑮ 静岡県の□港は□漁業の基地になっており、かつおや□が多く水あげされる。
- ⑯ 東北地方の□海岸の南部のように、複雑に入り組んだ地形の□海岸は、波がおだやかなため、漁港を作るのにむいている。

① 日本海流（黒潮）、対馬海

流

② 千島海流（親潮）、リマン

海流

③ 太平洋、日本海、オホーツク海、東シナ海

④ かに、たこ、かれい、うに

⑤ 三陸海岸沖、千島、日本

⑥ 2つの海流がぶつかり渦がで

き、その渦によって海中の

栄養分が海面にわき上がる

り、プランクトンが多く

発生するから。

⑦ 大陸棚は浅いため日光が

海底までとどき、海藻やプランクトンが多いから。大陸

棚は陸地から続いているため、陸地や川の栄養分が流れこみやすいから。

⑧ アメリカ、ロシア、さけ、ま

す、かに、たら、北洋漁業

⑨ 200カイリ漁業専管水域、

釧路

⑩ 冬、南、夏、北

⑪ 境、かに

⑫ 八戸、いか

⑬ 石巻、さば、東日本大震災

⑭ 千葉、銚子、利根

⑮ 焼津、遠洋、まぐろ

⑯ 三陸、リアス